

ふるさとの輝くあしたへ
ニイガタ
ぞっこん
宣言

おかげさまで創立65周年

BSN

第 **87** 期
事業のご報告



株主の皆様へ



平素は当事業につき格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
ここに当社第87期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業の概況をお届けいたしますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。
当社では、平成29年6月29日付で代表取締役社長竹石松次が代表取締役会長に就任し、後任として私が代表取締役社長に就任いたしました。
新体制の下、経営基盤の一層の充実と強化を図り、事業の発展と地域貢献に努めてまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月
代表取締役社長
佐藤 隆夫

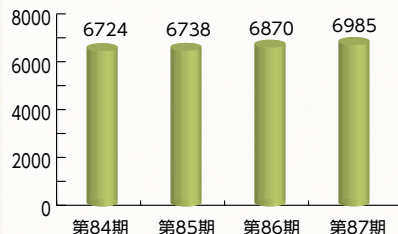
事業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融政策の継続により、雇用情勢の改善をはじめ緩やかな回復基調を見せました。しかしながら、世界経済の不安定化に加え、国内景気に関しては、個人消費の低迷など先行き不透明な状態が続きました。

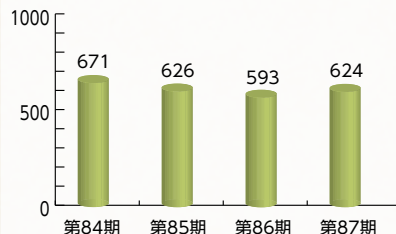
これらを背景に、放送業界における広告出稿も先が読めない状況が続き、当社はラジオ部門においては、前期の実績を下回る厳しい結果となりました。一方、テレビ部門におきましては、主力のスポット収入の増加などで前期を上回りました。また、放送以外の部門におきましては、大型イベントの開催などにより、収益の確保に傾注いたしました。

この結果、当期の営業収益は69億8千5百万円と、前期に比べ1.7%の増収となりました。利益面で全社を挙げてコスト削減に努め、経常利益は6億2千4百万円と前期に比べ5.3%の増益となりました。最終的な当期純利益では4億8千6百万円を確保し、前期に比べ1.8%の増益となりました。

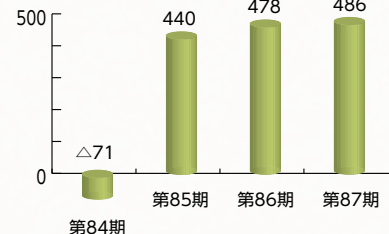
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



当期純利益又は損失 (百万円)



ラジオ部門

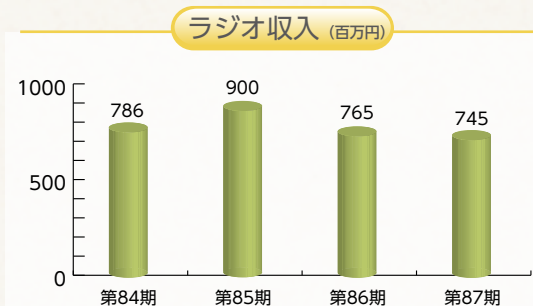
当期におけるラジオ収入は、前期比 2.7%減の7億4千5百万円となりました。新たな番組開発を行い、スポット収入の減収を抑えるなど一応の成果を上げることができましたが、全体の減収傾向を止めるまでには至りませんでした。番組制作面では、既存番組の内容充実をはかるとともに新番組を立ち上げました。このうち金曜日には「高橋なんぐの金曜天国」など人気タレントを起用した3番組をスタートさせました。恒例の「BSN 夏ラジオ」を開催し、リスナーへの感謝の気持ちを伝えるとともに新規リスナーの開拓を目指しました。生放送を交えながらステージイベントを展開するこの催しには2万人を超える来場者がありました。また、信越地区管内で初めてワイド FM 中継局を整備し、災害時の住民への情報伝達の確保と電波利用の普及発展に寄与したとして「信越総合通信局長賞」を受賞しました。



(金曜9時～11時50分)



「BSN夏ラジオ」(新潟ふるさと村)二日間で約2万人が来場



FM補完中継局開設で信越総合通信局長賞を受賞



テレビ部門

当期におけるテレビ収入は、前期比 1.8% 増の 53 億 2 千 5 百万円となり、9 千 1 百万円の増収となりました。このうち、制作収入は前期比 2.7% 減となったものの、収益の柱であるスポット収入が前期比 3.0% 増となり制作収入の減収分をカバーすることができました。

番組制作面では、6 年目を迎えたゴールデンタイムのレギュラー番組「水曜見ナイト」の充実を図るため、グルメにこだわらず、メイド・イン・ニイガタのブランド化についてなど、広く新潟の魅力発信に努めました。2 時間スペシャルを 2 回実施し、年間の平均視聴率は 10.5% で、キー局の番組と遜色ない数字を残しました。単発番組では BSN ラジオの一時代を築いた大倉修吾パーソナリティの急逝を受け、「ありがとう大倉さん」を制作し、多くのファンの期待に応えました。

また、新潟にゆかりの偉人を紹介する「にいがた偉人伝」のうち『諸橋轍次』は日本民間放送連盟賞特別表彰部門青少年向け番組優秀賞を受賞いたしました。全 50 回の放送が終了したことを受け、全話を DVD にして、新潟県内の小中学校などに配布し地域の教育活動、故郷の再発見に活用していただいています。

報道関係では、夕方のローカルニュース番組をリニューアルし、タイトルも新たに「BSN NEWS ゆうなび」をスタートさせ、県民の生活に直結する重大関心事をスタジオ解説や中継を交えながら、多角的にお伝えしています。



「BSN NEWS ゆうなび」(月～金曜 午後 6 時 15 分から)



「水曜見ナイト 2 時間スペシャル(長岡花火)」

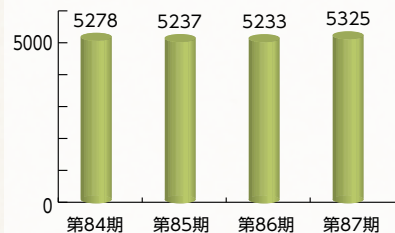


「ありがとう大倉さん 笑いと涙のラジオ人生」



「にいがた偉人伝」全 50 話 DVD
新潟県内の小中学校などに配布

テレビ収入 (百万円)



その他の部門

当期におけるその他の部門の収入は、前期比 4.9%増の9億1千4百万円となりました。

このうち、ラジオ・テレビに関連するものとしては、番組やCMを県外の放送局に積極的にセールスし増収に繋がったほか、コンテンツの海外放送事業も、「水曜見ナイト」などの番組をアジア各国に販売し多角的な営業展開を図りました。

スポーツ関係では、6月にプロ野球セ・パ交流戦「横浜 DeNA ベイスターズ vs 北海道日本ハムファイターズ」をハードオフ・エコスタジアムで主催し、1万9千人のファンがスタンドを埋め、熱い声援を送りました。また、夏休み恒例の親子向けビッグイベント「ジュラシック大恐竜展 in ときメッセ」を開催し、7万人余りが入場しました。このほか、「BSN スケートフェスティバル」などBSNの冠がついたスポーツ大会を数多く開催し、新潟県のスポーツ振興に貢献しました。



プロ野球セ・パ交流戦 横浜DeNA vs 北海道日本ハム
ハード・オフ・エコスタジアム



BSNスケートフェスティバル



ジュラシック大恐竜展 in ときメッセ





対処すべき課題

当社の活動の中心である放送業界をめぐる状況は情報通信技術の急速な進歩は多メディア化・多チャンネル化が進展しています。モバイル機器の普及はそのスピードを速めています。

こうした変革期にあっても、放送事業者の使命は、信頼できる情報と良質なコンテンツを地域の聴取者・視聴者に送り届けることであります。ラジオ・テレビ兼営という優位性を持つ当社は、インターネットも含め複合的に情報発信力を高め、経営基盤を強化することが必要不可欠であると考えております。

昭和 27 年（1952 年）、新潟放送は、RNK = ラジオ新潟として発足し、今年 65 周年を迎えました。65 周年のスローガンは「～ふるさとの輝くあしたへ～ニイガタぞっこん宣言」としました。

これは心の底から新潟を愛し「もっともっと地域密着」の思いを込めたものです。ふるさと新潟を見つめ、記録し、ラジオ・テレビ・イベントを通じて皆様とつながります。放送を通じて公共の福祉、文化の向上、産業と経済の発展に寄与するという経営理念は創業当時から揺らぐことなく不変であります。今後も「地域に必要とされる放送局」であり続けるために、聴取者・視聴者の視点に立って地域社会のために尽力してまいります。

設備投資の状況



村上情報カメラ



統合バンク

当期中に実施した設備投資総額
349,000 千円

〈主な設備投資等〉

- ・ 村上情報カメラ
- ・ 統合バンク
- ・ LTO アーカイブシステム



LTOアーカイブシステム

財務諸表

■ 連結貸借対照表 ■ (単位：千円)

科 目	当期末		前期末	
	平成29年3月31日	平成28年3月31日	平成29年3月31日	平成28年3月31日
(資産の部)				
流動資産	11,008,469	10,539,714		
固定資産	12,131,217	11,706,153		
有形固定資産	7,150,873	7,157,621		
無形固定資産	292,294	263,068		
投資その他の資産	4,688,049	4,285,463		
資産合計	23,139,687	22,245,867		
(負債の部)				
流動負債	4,840,718	4,830,274		
固定負債	1,749,861	1,841,491		
負債合計	6,590,580	6,671,765		
(純資産の部)				
株主資本	14,388,045	13,725,924		
資本金	300,000	300,000		
資本剰余金	5,750	5,750		
利益剰余金	14,082,849	13,420,698		
自己株式	△554	△524		
その他の包括利益累計額	505,382	292,799		
非支配株主持分	1,655,679	1,555,377		
純資産合計	16,549,107	15,574,102		
負債・純資産合計	23,139,687	22,245,867		

■ 連結キャッシュ・フロー計算書 ■ (単位：百万円)

科 目	当 期		前 期	
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,816	2,104		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△598	△170		
財務活動によるキャッシュ・フロー	△894	△917		
現金及び現金同等物の増加額	323	1,016		
現金及び現金同等物の期首残高	4,368	3,352		
現金及び現金同等物の期末残高	4,692	4,368		

■ 連結損益計算書 ■ (単位：千円)

科 目	当 期		前 期	
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	22,027,175	21,057,248		
売上原価	16,343,264	15,249,410		
売上総利益	5,683,910	5,807,838		
販売費及び一般管理費	4,580,157	4,754,184		
営業利益	1,103,753	1,053,654		
営業外収益	84,662	76,623		
営業外費用	26,749	27,693		
経常利益	1,161,666	1,102,584		
特別利益	10,663	79,050		
特別損失	12,932	58,775		
税金等調整前当期純利益	1,159,397	1,122,859		
法人税、住民税および事業税	205,151	249,089		
法人税等調整額	126,078	94,160		
当期純利益	828,166	779,608		
非支配株主に帰属する当期純利益	113,522	98,188		
親会社株式に帰属する当期純利益	714,643	681,420		

■ 個別 ハイライト ■

(単位：百万円)

科 目	当期末		前期末	
	平成29年3月31日	平成28年3月31日	平成29年3月31日	平成28年3月31日
総資産	12,858	12,196		
純資産	11,300	10,633		

科 目	当 期		前 期	
	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
売上高	6,985	6,870		
営業利益	536	515		
経常利益	624	593		
当期純利益	486	478		



■ 重要な子会社の状況 ■

会社名	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	主要な事業内容
(株) BSN ウェーブ	85	100.0	建物管理及び不動産業
(株) BSN アイネット	200	65.5	情報処理サービス及び電算機器の販売
(株) ビーアイテック	50	65.5	パソコン機器及び関連商品の販売、及びシステム建設並びに保守
(株) IT スクエア	80	56.3	情報化戦略立案支援及び情報システム導入調達支援

BSN グループ (◇は連結対象子会社)

(株)新潟放送

◇(株) BSN ウェーブ

◇(株) BSN アイネット

◇(株) ビーアイテック

◇(株) IT スクエア

(株) エム・エス・シー

龍越ソフト(株)

(株) エヌ・ティ・エス

(株) 日本ファシリティ

(株) グローバルネットコア

株式の概況 (平成29年3月31日現在)

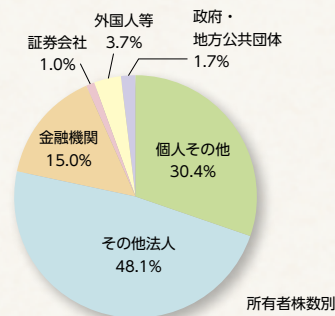
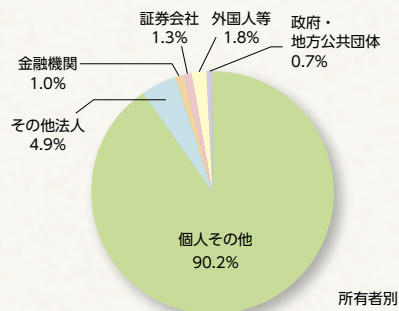
- ◆ 発行可能株式総数 10,000,000 株
- ◆ 発行済株式総数 6,000,000 株
(自己株式 844 株を含む)
- ◆ 株主数 1,258 名

◆ 大株主 (上位 10 名)

株主名	所有株式数	持株比率
株式会社新潟日報社	765,800 株	12.7 %
越後交通株式会社	579,050	9.6
株式会社東京放送ホールディングス	485,000	8.0
株式会社第四銀行	299,600	4.9
第四リース株式会社	204,000	3.4
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	132,000	2.2
蒲生 逸郎	129,000	2.1
BSN 従業員持株会	121,300	2.0
ROYAL BANK OF CANADA	120,000	2.0
みずほ信託銀行株式会社	107,000	1.7

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株式の分布状況 (平成29年3月31日現在)



会社の沿革 (平成29年3月31日現在)

昭和27年10月14日	会社創立「株式会社ラジオ新潟」 (資本金5,000万円)
12月24日	ラジオ放送開始
29年 5月 1日	増資2,000万円 (ラジオ設備資金) 資本金7,000万円
33年 2月17日	増資1,400万円 (株式配当) 資本金8,400万円
3月25日	増資11,600万円 (テレビ設備資金) 資本金20,000万円
12月24日	テレビジョン放送開始
36年 3月 1日	商号「株式会社ラジオ新潟」を 「株式会社新潟放送」に変更
38年 9月 2日	増資10,000万円 (BSN産業会館設備資金) 資本金 3 億円
39年10月 1日	テレビジョンカラー放送開始
44年 4月15日	東京店頭売買銘柄に登録
49年 8月30日	決算期を毎年3月31日とする 年1回決算に変更
平成 5年 8月20日	500円額面株式1株を50円額面 株式10株に分割し、1単位の株式 数を100株から1,000株に変更
11年 8月 2日	1単位の株式数を1,000株から 100株に変更
13年10月 1日	1単位の株式数100株を1単位の 株式数100株に変更
16年12月13日	ジャスダック証券取引所(現 東京証 券取引所ジャスダック市場)に変更
18年 4月 1日	地上デジタルテレビ放送開始
23年 7月24日	テレビのアナログ放送終了し、 デジタル放送に完全移行
27年11月 1日	ラジオFM補完放送開始

役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役会長	竹石松次
代表取締役社長	佐藤隆夫
常務取締役	島田好久
取締役	大竹正敏
取締役	金田博幸
取締役	小林強
取締役	小原弘志
取締役	梅津雅之
取締役	小田敏三
取締役	吉田靖
取締役	並木富士雄
監査役	五十嵐幹史
監査役	高橋道映
監査役	中山輝也
監査役	瀬賀弥平
顧問	田中真紀子
特別顧問	牧野庄三





株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会** 毎年6月
- 剰余金の配当** 毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 中間配当** 取締役会の決議によって、中間配当を実施する場合は、毎年9月30日最終の株主名簿に記載又は記録された株主又は登録株式質権者に対しお支払いいたします。
- 株式名簿管理人** 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社
- 単元株数** 100株
- 公告掲載新聞** 新潟日報

◆お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合

住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。

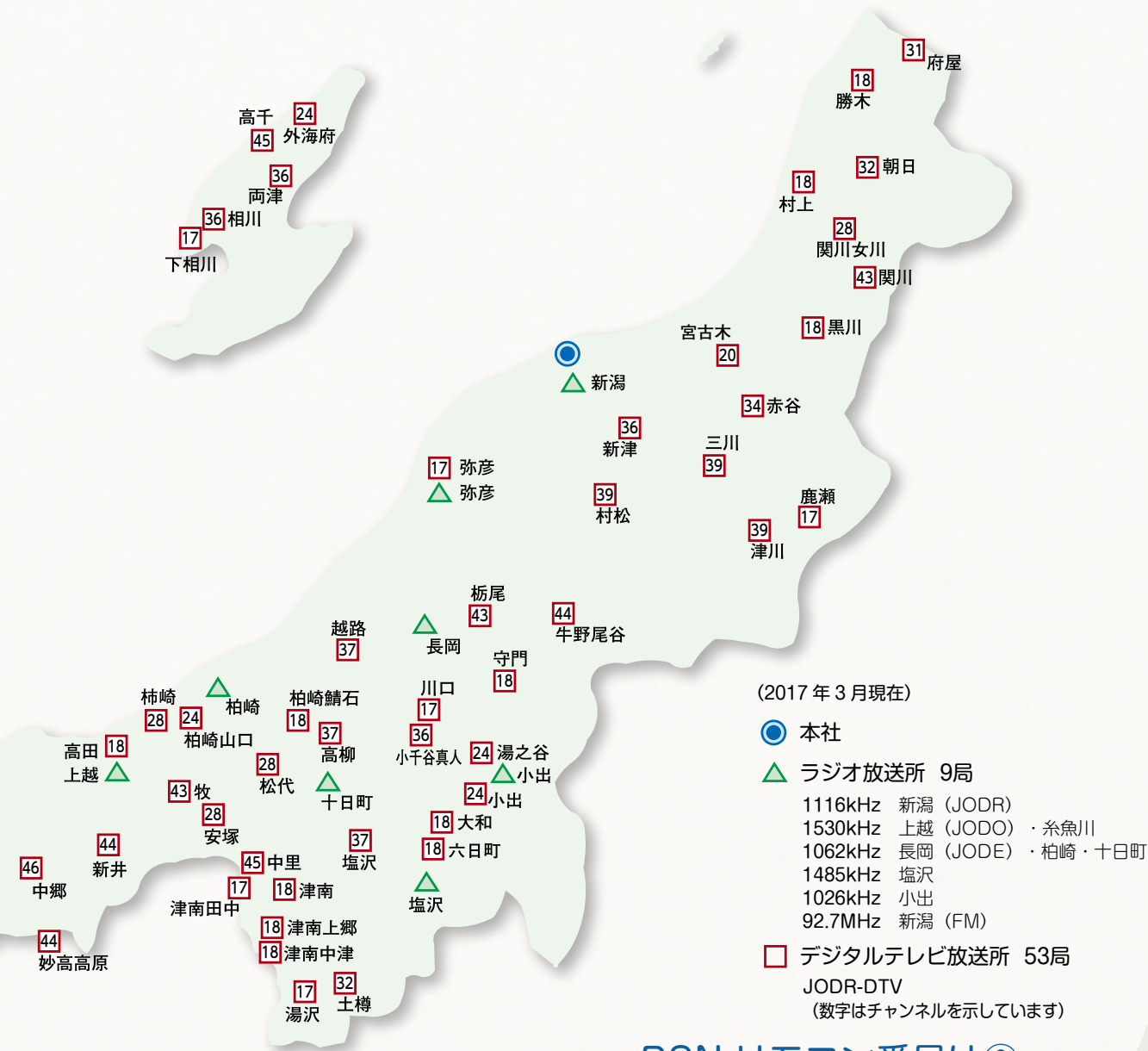
証券会社に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）

下記のお取扱店にてお取次ぎいたします。

- ◆お取扱店** みずほ証券 本店、全国各支店
みずほ信託銀行 本店、全国各支店
- ◆お問合せ先** 〒168-8507 東京都杉並区和泉 2-8-4
みずほ信託銀行証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324

BSN ラジオ・テレビ





BSN リモコン番号は⑥

BSN



■ 本 社

〒951-8655
新潟市中央区川岸町3-18
tel 025(267)4111

■ 事業局

〒950-8448
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ
(事業部) tel 025(290)7844

■ 長岡支社

〒940-0082
長岡市千歳1-3-43
メディアプラット
tel 0258(35)7531

■ 上越支社

〒943-0831
上越市仲町4-3-19
マルケーバスビル
tel 025(524)2115

■ 東京支社

〒104-0061
東京都中央区銀座5-15-1
南海東京ビル
tel 03(3543)5001

■ 大阪支社

〒530-0001
大阪市西区江戸堀1-9-1
肥後橋センタービル
tel 06(6344)2700